

# 高松港及び坂出港におけるクルーズ船の 寄港促進に向けた課題と対応

高松・坂出WG

# 目次

・課題1	： 瀬戸内海における航行規制	.....2
・課題2	： 効果的な誘致活動	.....6
・課題3	： 瀬戸内海各港の連携・相互補完による「お断りゼロ」の実現	.....10
・課題4	： 効果的なクルーズ船の受入体制	.....11
・課題5	： クルーズ船旅行客に対する観光情報サービスの適切な提供	.....12
・課題6	： 港におけるCIQ手続き時の旅客負荷	.....13
・課題7	： 国際埠頭施設での大型バス等受け入れのための対応	.....14
・課題8	： 高松港における港湾貨物との競合	.....15
・課題9	： 坂出港における港湾貨物との競合	.....16

# 課題1：瀬戸内海における航行規制

## 【課題】

瀬戸内海では、船舶航行の安全を図るため、海上交通安全法により、特別の航行規制が定められている。これらの航行規制を前提とした誘致方策を立てる必要がある。

例えば、備讃瀬戸航路、来島海峡航路においては、巨大船(全長200m以上)の夜間航行が禁止されていることに加え、来島海峡航路では、昼間のうちでも憩流時又は弱順潮時(潮の流れ3ノット)に中水道を航行することとされている。また、巨大船等の視界制限による航路外待機の指示や速度規制、入航4日前からの事前通報(予約)等がある。

また、瀬戸内海は貨物船の通航量が多く、船舶による多様な活動がなされており、航行船舶の安全に配慮する必要がある。



## 【対応】

### 短期:

- ・全長200m未満のラグジュアリークラスの小型船やプレミアムクラスのクルーズ船の寄港促進。←香川県・坂出市
- ・昼間の航行時において、クルーズ船と他の船舶双方の安全確保の観点から、備讃瀬戸航路によらない代替航路(P3)の存在をクルーズ船社に周知・PR←香川県・四国地方整備局
- ・夜間停泊と昼間の航行といったクルーズプランの可能性の検討。←香川県・坂出市

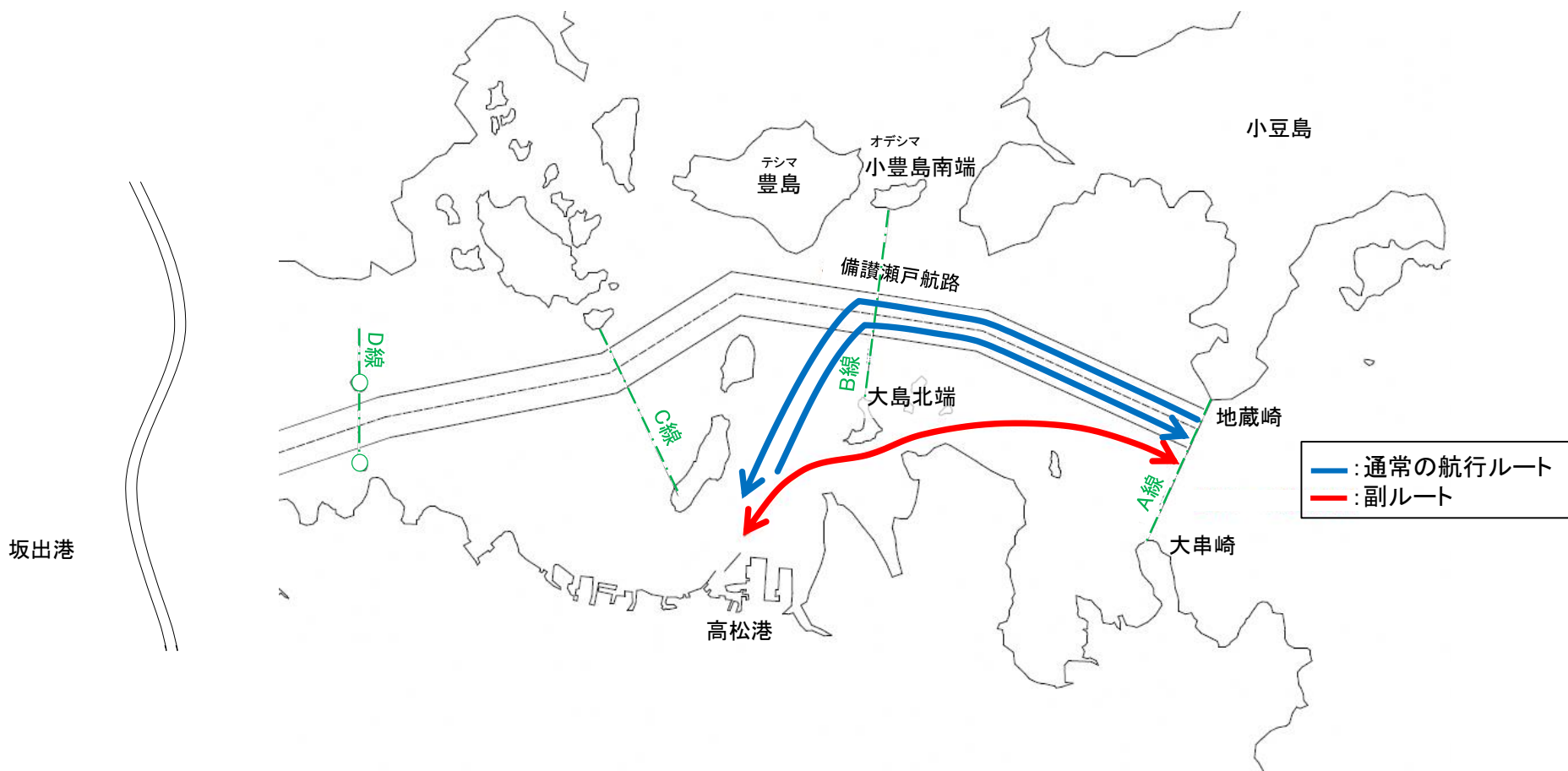


## (参考) 東側海域から高松港への入出港ルート

長さ50m以上の船舶がA線とB線との間を航行しようとする場合は、海上交通安全法により、備讃瀬戸航路を航行することが義務づけられているが、A線とB線との間を航行しない場合は、この限りではない。

このため、高松港へ入出港する際に、クルーズ船と他の船舶双方の安全確保の観点から、B線を通過しない航路(以下、「副ルート」と称する)を活用することができる。

当該副ルートの航行については、既に、飛鳥Ⅱにおいて実績がある。今後、高松港へのクルーズ船誘致の際に、副ルートの存在を積極的にPRしていくことも有効。



# (参考)港内で夜間停泊する場合の航行コース

高松港または坂出港の港内停泊や沖合に停泊し、翌日昼間に瀬戸内海を航行するコースが考えられる。

例)クルーズコースの例

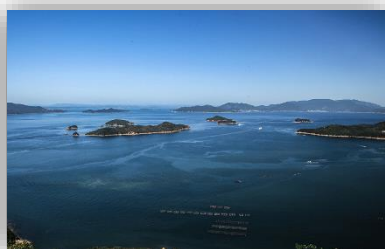
阪神方面を朝に出港し高松港または坂出港に昼に寄港。1泊して翌朝出港する。

1日目:①神戸港・大阪港(早朝発) → ②昼間航行 → ③1泊停泊

大阪湾を出発し、明石海峡大橋を船上から見上げ、播磨灘を通り、昼間高松港に寄港し、背後地または島々を観光する。夜間は魅力的なイベント(花火大会やライトアップイベント等)を楽しむ。

2日目:④早朝発 → ⑤瀬戸内海の多島美を見ながらの日中航行

瀬戸大橋及び来島海峡大橋を船上から見るダイナミックな景色や、燧灘及び斎灘での多島美の景観を楽しむ。



①五色台から望む瀬戸内海(香川県 高松市)



②女木島から望む高松港(香川県 高松市)



③瀬戸大橋(香川県 坂出市)



④しまなみ海道と夕日(愛媛県 今治市)

掲載写真:香川県観光協会HP、いよ観ネットフォトギャラリーより

# (参考) 港内で夜間停泊する場合の高松のアクティビティー

## 香川県における夜間イベント等の事例

現在、飛鳥Ⅱにおいて、「さぬき高松まつり花火大会」の夜間イベントを活用したクルーズが行われているところ。これら夜間にしか体験できない魅力的なイベントを新たなクルーズ船寄港コースとしてPRに活用していくことも重要。



栗林公園春のライトアップ 3月下旬～4月上旬



さぬき高松まつり花火大会 8月中旬



さかいで大橋まつり 8月上旬



むれ源平石あかりロード 8月上旬～9月中旬



屋島山頂からの高松市の夜景

## 【その他の夜間イベント等】

- ・塩江ホテルまつり 6月上旬
- ・まるがめ婆娑羅まつり 8月中旬
- ・まんのう公園サマーナイトフェスティバル 8月中旬
- ・田村神社灯籠祭 8月中旬
- ・みろく納涼夏まつり 8月中旬
- ・キャンドルナイトin小豆島 9月中旬

## 課題2:効果的な誘致活動

### 【課題】

クルーズ船誘致のためには、クルーズ船社と直接面談する商談会への積極的な参加をはじめ、船社、旅行会社等の訪日の機会を利用したPRや、地元へ招待するなど、あらゆる機会を通じた誘致活動が求められる。

また、クルーズ船誘致のためには、地元観光業者、飲食店、レクリエーション施設等、多様な地元関係者が魅力的な観光地に育てていけるよう、クルーズ船の誘致への関心を高める必要がある。

### 【対応】【高松港】

**短期:**・リピーターを含むターゲット(客層)毎のクルーズプランの作成・PR。  
←香川県・高松市・観光協会等

#### 【クルーズプランの提案】

例)ポジショニングクルーズ、レール&クルーズ、フライ&クルーズ等、高松港及び坂出港エリアの資源を活かしたクルーズプランの提案。

例)クルーズ船寄港港と離島航路とを連携したエクスカージョン・ツアーの提案。

例)テンダーボートを活用した離島周遊のエクスカージョンツアーの提案。

・国内外の船社・旅行代理店を通じたPR、海外クルーズ船社の寄港決定者を地元へ招待してPR。また、初寄港となるクルーズ船については、港湾部局の技術担当職員同行の下でPRを実施。←既に対応済み

・備讃瀬戸航路における輻輳時等における代替航路のPR。←香川県

・国主催による商談会等への積極的な参加、及び船社訪問(四国地方整備局及び四国運輸局は、主催する商談会等の情報を提供する。)←香川県

・クルーズ活性化検討会や勉強会を開催し、地元のクルーズ船への関心を高めるとともに、新聞、テレビ、自治体の広報紙、ホームページ、ダイレクトメールを活用し、市民へクルーズ船入出港スケジュールとイベント情報を発信。←香川県・高松市

**中長期:**【クルーズ船への理解・関心を高める取組例】

例)地元生徒と乗船客の交流を図るため、学生のボランティアによる外国語を用いた案内等を実施。

### 【坂出港】

**短期:**・国主催による商談会等への積極的な参加、及び船社訪問(四国地方整備局及び四国運輸局は、主催する商談会等の情報を提供する。)←坂出市・香川県

・クルーズ活性化検討会や勉強会を開催し、地元のクルーズ船への関心を高めるとともに、新聞、テレビ、自治体の広報紙、ホームページ、ダイレクトメールを活用し、市民へクルーズ船入出港スケジュールとイベント情報を発信。←坂出市・香川県

**中長期:**・リピーターを含むターゲット(客層)毎の観光ツアープランの作成・PR。

←坂出市・香川県・香川県観光協会

・国内外の船社・旅行代理店を通じたPR、海外クルーズ船社の寄港決定者を地元へ招待してPR。また、初寄港となるクルーズ船については、港湾部局の技術担当職員同行の下でPRを実施。←坂出市・香川県

【クルーズ船への理解・関心を高める取組例】

例)地元生徒と乗船客の交流を図るため、学生のボランティアによる外国語を用いた案内等を実施。

# (参考)高松港及び坂出港エリアの資源を活かしたクルーズプランの提案

日本海側から瀬戸内海といったクルーズ海域を移るポジショニング・クルーズの提案や、JR四国と連携したレール&クルーズの提案、高松空港を使ったフライ&クルーズの提案も考えられる。

## ■ポジショニング・クルーズの事例

- ・寄港地のベストな時期を考え、発着地を換えるクルーズ。



## ■レール&クルーズの事例

- ・電車での移動とクルーズを組み合わせたクルーズ

(例)につぼまるによるレール&クルーズ

高松港 ~ 軍艦島周遊・上五島(青方港) ~ 高松港



平成29年3月24日 につぼ丸寄港(高松港)



高松駅から玉藻地区岸壁(-10m)まで約650m

## ■フライ&クルーズの事例

- ・飛行機での移動とクルーズを組み合わせたクルーズ





# (参考) 離島航路と連携したエクスカージョンの案

## 離島航路と連携した芸術鑑賞ツアーの案

高松港及び坂出港からは美術館等へのアクセスが良く、更に高松港からは定期船や用船を利用することで、島々への観光が可能となることから、瀬戸内芸術祭などと連携し、芸術をテーマとした昼間の観光プランを組み合わせることも有効。



— : 瀬戸内芸術祭開催時における定期船航路

# (参考) テンダーボート(通船)を活用した離島周遊のエクスカージョンツアーの案

瀬戸内海の多島美や瀬戸内諸島の魅力を最大限生かし、沖合に停泊したクルーズ船からテンダーボート(通船)で瀬戸内海諸島へ周遊するクルーズ振興も魅力的なクルーズプランになりうる。

「にっぽん丸」では、2016年の「瀬戸内国際芸術祭2016パートナーシップ特別企画 芸術祭鑑賞クルーズ」において、本船を高松沖に停泊させ、通船またはテンダーボートによる直島、女木島、男木島、小豆島への寄港が行われた。

## ■ 芸術祭鑑賞クルーズのスケジュール

にっぽん丸 神戸発～広島着3日間

日 時	寄港地	スケジュール
10月11日(火)	神戸	9:00出港
	宇野	13:30入港
		通船に乗り換え、直島へ移動
		「地中海美術館」貸切鑑賞 「ベネッセハウスミュージアム」鑑賞
高松	通船で高松港へ移動、にっぽん丸乗船	
10月12日(水)	高松	高松沖停泊
		通船にて、直島・女木島・男木島・小豆島へ移動
		各地美術館等を鑑賞
10月13日(木)	高松	4:00出港
		瀬戸内・しまなみ街道クルーズ
	広島	15:00入港

## ■ 芸術祭鑑賞クルーズの寄港ルート



※青色は、1日目に通船またはテンダーボートを利用して移動したルート  
赤色は、2日目に通船またはテンダーボートを利用して移動したルート  
灰色は、本船での移動ルート



通船を利用した移動



通船から沖泊中の本船へ乗船

(出典: 商船三井客船公式サイト)

# 課題3: 瀬戸内海各港の連携・相互補完による「お断りゼロ」の実現

クルーズ船社から寄港要請があった際、既に他の船舶の先約により対応できない場合や、船舶が大型で受入が困難となる場合等において、距離的に近い港で当該クルーズ船を受け入れることにより、瀬戸内海各港でのクルーズ船寄港を補完し、背後地域の観光促進を図ることが期待される。



**短期:**・クルーズ船寄港要請の「お断りゼロ」に向けて、瀬戸内各港でクルーズ船の受入を補完できるよう、連携体制の充実を図る。  
 ←香川県・坂出市、四国地方整備局  
 ・特に、高松港・坂出港は、クルーズ船誘致や背後観光地のPRについて連携して実施する。←香川県・高松市・坂出市・香川県商工会議所・香川県観光協会・香川県バス協会・四国地方整備局



# 課題4: 効果的なクルーズ船の受入体制

## 【課題】

クルーズ船の旅客の港に対する好感度を高め、クルーズ船の寄港の増加・定着につなげていくため、官民が一体となって誘致や受入体制の充実を図るための推進体制の構築が必要である。

例えば、クルーズ船寄港時にクルーズ船旅行客による港や背後地へのアクセス向上や、大型船寄港時において大量のバス・タクシーの確保が必要となる場合がある。

また、クルーズ船旅行客の港への印象度を高めるために、市民やボランティア団体などによるおもてなしの充実も求められる。



## 【対応】

### ■ 高松港

#### 短期:

・クルーズ船の積極的な誘致や入港から出港までを通じたおもてなしの一層の充実等に取り組むため、官民からなる推進体制を構築。

←既に対応済み。※

#### 【受け入れサービスの充実例】

- 例) 最寄り駅までのシャトルバスの運行。(高松港朝日地区)
- 例) 各観光施設等において必要となる駐車場を事前確保。
- 例) 大型船寄港時には、バス・タクシーの他県への要請を実施。
- 例) ことடன்・JR等の一日乗車券販売、埠頭内での外貨両替を実施。

#### 中長期:

#### 【受け入れサービスの充実例】

- 例) オプションバスツアーの市街地周遊により引き起こされる渋滞を緩和する方策の検討。
- 例) 「クルーズファンクラブ」を創設し、会員等を活用した観光案内通訳者の養成。

### ■ 坂出港

#### 短期:

・クルーズ船の積極的な誘致や入港から出港までを通じたおもてなしの一層の充実等に取り組むため、官民からなる推進体制を構築。  
← 坂出市・香川県・香川県商工会議所・香川県観光協会・香川県バス協会・四国地方整備局

#### 【受け入れサービスの充実例】

- 例) 最寄り駅までのシャトルバスの運行。
- 例) 各観光施設等において必要となる駐車場を事前確保。
- 例) 大型船寄港時には、バス・タクシーの他県への要請を実施。
- 例) ことடன்・JR等の一日乗車券販売、埠頭内での外貨両替を実施。

#### 中長期:

#### 【受け入れサービスの充実例】

- 例) オプションバスツアーの市街地周遊により引き起こされる渋滞を緩和する方策の検討。
- 例) 「クルーズファンクラブ」を創設し、会員等を活用した観光案内通訳者の養成。

# 課題5:クルーズ船旅行客に対する観光情報サービスの適切な提供

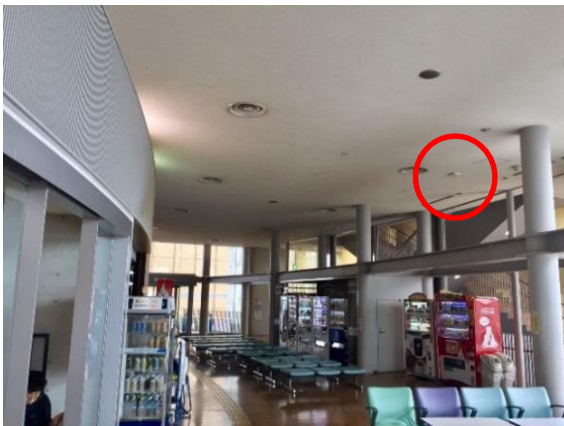
## 【課題】

クルーズ船旅行客の満足度を向上させるためには、旅行客のニーズの高い環境を整備していくことが求められる。  
訪日外国人からのWi-Fi環境の要望は非常に高い上、Wi-Fi環境が整っていると、クルーズ船旅行客による情報発信が促進され、全世界へのPRに繋がる可能性もある。  
また、旅客の利便性向上のために、主要な観光施設までの多言語表記の標識等の設置が望まれる。

## 【対応】

**短期:**・クルーズ船着岸が想定されている岸壁においては、モバイル型Wi-Fi機器の準備等必要な対応を検討する。【高松港朝日地区F地区岸壁(-10m) 及び坂出港林田地区A号岸壁(-12m)】←香川県・高松市・坂出市  
高松港玉藻地区ではWi-Fi及び多言語表記については対応済み。  
・主要駅、バス停、集客施設等を中心に周辺観光案内の推進。←香川県・高松市・坂出市・民間・四国地方整備局  
【円滑なコミュニケーション促進例】  
例) タクシー車内での英語の「指差しシート」の配布、多言語表記の観光マップの作成・配布。  
例) 飲食店のメニュー多言語化支援。  
例) 情報端末機器を活用した着地情報の発信。

### 【Wi-Fi対応】 <常設>

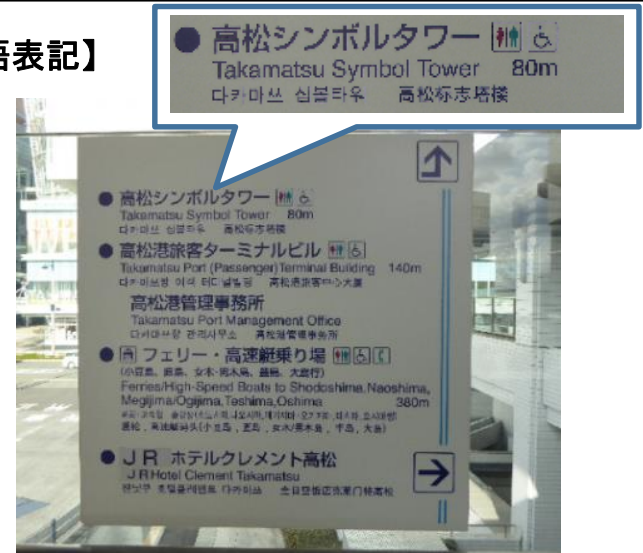


高松港旅客ターミナル2Fに常設されたWi-Fi設備



玉藻地区岸壁(-10m) に常設された無料Wi-Fi

### 【多言語表記】



高松港旅客ターミナルへのアクセスで多言語表記が対応された事例

## 課題6：港におけるCIQ手続き時の旅客負荷

### 【課題】

高松港玉藻地区岸壁(-10m)、朝日地区F地区岸壁(-10m)及び坂出港林田地区A号岸壁(-12m)は、旅客ターミナル等の施設がないため、CIQ手続きを屋外で実施せざるを得ず、旅客への利便性が損なわれている。

### 【対応】

**短期：**・クルーズ船寄港の際は、CIQ手続きを行うための仮設テント等の用意の実態・状況を把握し、対応について関係者間で協議する。

**中長期：**・寄港地でのCIQ手続きの簡素化等の要望の有無などの実態・状況を把握し、それらを踏まえた上で関係者間で協議する。

### 【船外でのCIQ手続きの一例】

船外の埠頭に税関業務を行うために設置されたテント



### 手荷物検査



# 課題7: 国際埠頭施設での大型バス等受け入れのための対応

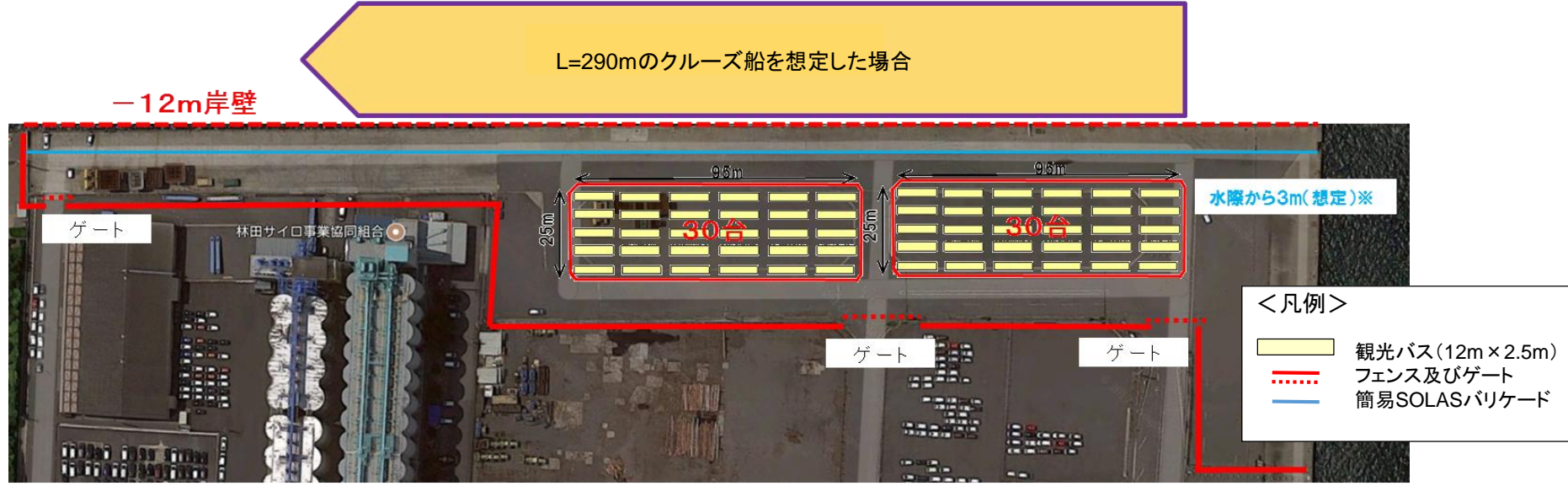
## 【課題】

国際埠頭施設においては、国際船舶・港湾保安法に基づく保安対策のため、立ち入り制限区域を設けている。  
外航クルーズ船寄港の際は、大型バスや一般市民が埠頭内に安全に入ることができるように、制限区域のレイアウト変更の調整が必要。

## 【対応】

**短期:** 高松港では、安全措置の方針を既に協議済み。  
坂出港では外航クルーズ船寄港の際、大型バスや一般市民が安全に埠頭内に入ることができるように、港湾管理者が四国地方整備局と協議し、「埠頭保安規程」を変更するなどにより、仮設フェンスの用意等必要な安全措置を構ずる。  
←坂出市・四国地方整備局

## SOLAS施設(フェンス、ゲート、バリケード)のレイアウト案



※離隔距離・レイアウトについて、四国地方整備局と要調整



制限区域のレイアウト変更により、クルーズ船近くで歓送迎が可能となった宇和島港

# 課題8: 高松港における港湾貨物との競合

## 【課題】

朝日地区F地区岸壁(-10m)は、航行安全検討委員会に諮り、大型クルーズ船(12万トン級)の入港は可能であるものの、週4日(7便)のコンテナ船等が就航しており、これら利用者との調整が必要。

## 【対応】

**短期:**・クルーズ船社等から寄港要請があり次第、港湾管理者は速やかに岸壁利用者(船社・荷主・港運関係者)に情報提供するとともに、受入体制について関係者と調整を行う。←香川県



### 旅客船用岸壁

(水深-10m、延長310m)  
飛鳥Ⅱ(定員約870名) など



フェリー(水深-7.5m,150m)  
(水深-6.0m,125m)

- 高松～土庄
- 高松～池田
- 高松～内海
- 高松～宮ノ浦
- 高松～宇野

フェリー・旅客船  
(岡山、離島)

高松市街

あさひ  
朝日地区

たまも  
玉藻地区

### 朝日地区コンテナターミナル (水深-10m、延長370m)

【外貿】  
韓国・中国航路(6便/週)  
【内貿】  
阪神航路(1便/週)



※大型クルーズ船(ダイヤモンド・プリンセス  
(定員約2,700名))の受入れが可能

高速艇(水深-7.0m,68m) × 2

- 高松～土庄
- 高松～豊島
- 高松～直島
- 高松～大島
- 高松～男木・女木



# 課題9: 坂出港における港湾貨物との競合

## 【課題】

坂出港林田地区A号岸壁(-12m)は、水深が深く延長も長い。また、背後ふ頭用地を大型バスの駐車場に活用できるなど、クルーズ船寄港の実績がある。一方、穀物を扱うバルク船が不定期で就航しているため、これら利用者との調整が必要。また、大型クルーズ船が安全に着岸するためには、係船柱の耐力の検証が必要。

## 【対応】

- 短期:**
  - ・クルーズ船社等から寄港要請があり次第、港湾管理者は速やかに岸壁利用者(船社・荷主・港運関係者)に情報提供するとともに、受入体制について関係者と調整を行う。←坂出市
  - ・大型のクルーズ船の寄港に向けて、現状の係船柱の耐力を検証する。←坂出市
- 中長期:**
  - ・必要となる係船柱の整備を検討する。←坂出市



※大型クルーズ船の接岸の際は、係船柱の耐力の検証が必要

# 高松港及び坂出港におけるクルーズ振興の進め方(案) (1/2)

分野	N o .	課題	対応策（短期）～2018年	対応策（中長期）2019年～	対応者
	1	瀬戸内海における航行規制 瀬戸内海では、船舶航行の安全を図るため、海上交通安全法により、特別の航行規制が定められている。これらの航行規制を前提とした誘致方策を立てる必要がある。 例えば、備讃瀬戸航路、来島海峡航路においては、巨大船（全長200m以上）の夜間航行が禁止されていることに加え、来島海峡航路では、昼間のうちでも憩流時又は弱順潮時（潮の流れ3ノット）に中水道を航行することとされている。また、巨大船等の視界制限による航路外待機の指示や速度規制、入航4日前からの事前通報（予約）等がある。 また、瀬戸内海は貨物船の通航量が多く、船舶による多様な活動がなされており、航行船舶の安全に配慮する必要がある。	・全長200m未満のラグジュアリークラスの小型船やプレミアムクラスのクルーズ船の寄港促進。 ・夜間停泊と昼間の航行といったクルーズプランの可能性の検討。	同左	・香川県 ・坂出市
			・昼間の航行時において、クルーズ船と他の船舶双方の安全確保の観点から、備讃瀬戸航路によらない代替航路（P3）の存在をクルーズ船社に周知・PR。	同左	・香川県 ・四国地方整備局
				<b>【高松港】</b>	
寄港に誘致して活動	2	効果的な誘致活動 クルーズ船誘致のためには、クルーズ船社と直接面談する商談会への積極的な参加をはじめ、船社、旅行会社等の訪日の機会を利用したPRや、地元へ招待するなど、あらゆる機会を通じた誘致活動が求められる。 また、クルーズ船誘致のためには、地元観光業者、飲食店、レクリエーション施設等、多様な地元関係者が魅力的な観光地に育てていけるよう、クルーズ船の誘致への関心を高める必要がある。	・リピーターを含むターゲット（客層）毎のクルーズプランの作成・PR。	同左	・香川県 ・高松市 ・観光協会等
			【クルーズプランの提案】 例）ポジショニングクルーズ、レール&クルーズ、フライ&クルーズ等、高松港及び坂出港エリアの資源を活かしたクルーズプランの提案。 例）クルーズ船寄港港と離島航路とを連携したエクスカージョン・ツアーの提案。 例）テンドーボートを活用した離島周遊のエクスカージョンツアーの提案。	-	-
			・国内外の船社・旅行代理店を通じたPR、海外クルーズ船社の寄港決定者を地元へ招待してPR。また、初寄港となるクルーズ船については、港湾部局の技術担当職員同行の下でPRを実施。	-	既に対応済み
			・備讃瀬戸航路における幅狭時等における代替航路のPR。 ・国主催による商談会等への積極的な参加、及び船社訪問（四国地方整備局及び四国運輸局は、主催する商談会等の情報を提供する。）	同左	・香川県
			・クルーズ活性化検討会や勉強会を開催し、地元のクルーズ船への関心を高めるとともに、新聞、テレビ、自治体の広報紙、ホームページ、ダイレクトメールを活用し、市民へクルーズ船入出港スケジュールとイベント情報を発信。	同左	・香川県 ・高松市
			-	-	【クルーズ船への理解・関心を高める取組例】 例）地元生徒と乗船客の交流を図るため、学生のボランティアによる外国語を用いた案内等を実施。
			<b>【坂出港】</b>		
			・国主催による商談会等への積極的な参加、及び船社訪問（四国地方整備局及び四国運輸局は、主催する商談会等の情報を提供する。） ・クルーズ活性化検討会や勉強会を開催し、地元のクルーズ船への関心を高めるとともに、新聞、テレビ、自治体の広報紙、ホームページ、ダイレクトメールを活用し、市民へクルーズ船入出港スケジュールとイベント情報を発信。	・国内外の船社・旅行代理店を通じたPR、海外クルーズ船社の寄港決定者を地元へ招待してPR。また、初寄港となるクルーズ船については、港湾部局の技術担当職員同行の下でPRを実施。	・坂出市 ・香川県
			-	・坂出市 ・香川県 ・香川県観光協会	
			-	【クルーズ船への理解・関心を高める取組例】 例）地元生徒と乗船客の交流を図るため、学生のボランティアによる外国語を用いた案内等を実施。	-
3	瀬戸内海各港の連携・相互補完による「お断りゼロ」の実現 クルーズ船社から寄港要請があった際、既に他の船舶の先約により対応できない場合や、船舶が大型で受入が困難となる場合等において、距離的に近い港で当該クルーズ船を受け入れることにより、瀬戸内海各港でのクルーズ船寄港を補完し、背後地域の観光促進を図ることが期待される。	・クルーズ船寄港要請の「お断りゼロ」に向けて、瀬戸内各港でクルーズ船の受入を補完できるよう、連携体制の充実を図る。	同左	・香川県 ・坂出市 ・四国地方整備局	
		・特に、高松港・坂出港は、クルーズ船誘致や背後観光地のPRについて連携して実施する。	同左	・香川県 ・高松市 ・坂出市 ・香川県商工会議所 ・香川県観光協会 ・香川県バス協会 ・四国地方整備局	

# 高松港及び坂出港におけるクルーズ振興の進め方(案) (2/2)

分野	N o.	課題	対応策(短期)～2018年	対応策(中長期)2019年～	対応者
寄 に 港 つ 誘 い 致 て 活 動	4	効果的なクルーズ船の受入体制  クルーズ船の旅客の港に対する好感度を高め、クルーズ船の寄港の増加・定着につなげていくため、官民が一体となって誘致や受入体制の充実を図るための推進体制の構築が必要である。  例えば、クルーズ船寄港時にクルーズ船旅行者による港や背後地へのアクセス向上や、大型船寄港時において大量のバス・タクシーの確保が必要となる場合がある。  また、クルーズ船旅行者の港への印象度を高めるために、市民やボランティア団体などによるおもてなしの充実も求められる。	クルーズ船の積極的な誘致や入港から出港までを通じたおもてなしの一層の充実等に取り組むため、官民からなる推進体制を構築。 【受け入れサービスの充実例】 例) 最寄り駅までのシャトルバスの運行。(高松港朝日地区) 例) 各観光施設等において必要となる駐車場を事前確保。 例) 大型船寄港時には、バス・タクシーの他県への要請を実施。 例) ことでん・JR等の一日乗車券販売、埠頭内での外貨両替を実施。	【高松港】 - 【受け入れサービスの充実例】 例) オプショナルバスツアーの市街地周辺により引き起こされる渋滞を緩和する方策の検討。 例) 「クルーズファンクラブ」を創設し、会員等を活用した観光案内通訳者の養成。	既に対済済み
			クルーズ船の積極的な誘致や入港から出港までを通じたおもてなしの一層の充実等に取り組むため、官民からなる推進体制を構築。 【受け入れサービスの充実例】 例) 最寄り駅までのシャトルバスの運行。 例) 各観光施設等において必要となる駐車場を事前確保。 例) 大型船寄港時には、バス・タクシーの他県への要請を実施。 例) ことでん・JR等の一日乗車券販売、埠頭内での外貨両替を実施。	【坂出港】 - 【受け入れサービスの充実例】 例) オプショナルバスツアーの市街地周辺により引き起こされる渋滞を緩和する方策の検討。 例) 「クルーズファンクラブ」を創設し、会員等を活用した観光案内通訳者の養成。	・坂出市 ・香川県 ・香川県商工会議所 ・香川県観光協会 ・香川県バス協会 ・四国地方整備局
			クルーズ船着岸が想定されている岸壁においては、モバイル型Wi-Fi機器の準備等必要な対応を検討する。【高松港朝日地区F地区岸壁(-10m)及び坂出港林田地区A号岸壁(-12m)】	同左	・香川県 ・高松市 ・坂出市
			・主要駅、バス停、集客施設等を中心に周辺観光案内の推進。 【円滑なコミュニケーション促進例】 例) タクシー車内での英語の「指差しシート」の配布、多言語表記の観光マップの作成・配布。 例) 飲食店のメニュー多言語化支援。 例) 情報端末機器を活用した着地情報の発信。	同左	・香川県 ・高松市 ・坂出市 ・民間 ・四国地方整備局
	6	港におけるC I Q手続き時の旅客負荷  高松港玉藻地区岸壁(-10m)、朝日地区F地区岸壁(-10m)及び坂出港林田地区A号岸壁(-12m)は、旅客ターミナル等の施設がないため、C I Q手続きを屋外で実施せざるを得ず、旅客への利便性が損なわれている。	・クルーズ船寄港の際は、C I Q手続きを行うための仮設テント等の用意の実態・状況を把握し、対応について関係者間で協議する。	・寄港地でのC I Q手続きの簡素化等の要望の有無などの実態・状況を把握し、それらを踏まえた上で関係者間で協議する。	-
	7	国際埠頭施設での大型バス等受け入れのための対応  国際埠頭施設においては、国際船舶・港湾保安法に基づく保安対策のため、立ち入り制限区域を設けている。 外航クルーズ船寄港の際は、大型バスや一般市民が埠頭内に安全に入ることができるように、制限区域のレイアウト変更の調整が必要。	・高松港では、安全措置の方針を既に協議済み。 ・坂出港では外航クルーズ船寄港の際、大型バスや一般市民が安全に埠頭内に入ることができるように、港湾管理者が四国地方整備局と協議し、「埠頭保安規程」を変更するなどにより、仮設フェンスの用意等必要な安全措置を構築する。	-	既協議済み
	8	高松港における港湾貨物との競合  朝日地区F地区岸壁(-10m)は、航行安全検討委員会に諮り、大型クルーズ船(12万トン級)の入港は可能であるものの、週4日(7便)のコンテナ船等が就航しており、これら利用者との調整が必要。	クルーズ船社等から寄港要請があり次第、港湾管理者は速やかに岸壁利用者(船社・荷主・港運関係者)に情報提供するとともに、受入体制について関係者と調整を行う。	同左	・香川県
	9	坂出港における港湾貨物との競合  坂出港林田地区A号岸壁(-12m)は、水深が深く延長も長い。また、背後ふ頭用地を大型バスの駐車場に活用できるなど、クルーズ船寄港の実績がある。一方、穀物を扱うバルク船が不定期で就航しているため、これら利用者との調整が必要。 また、大型クルーズ船が安全に着岸するためには、係船柱の耐力の検証が必要。	クルーズ船社等から寄港要請があり次第、港湾管理者は速やかに岸壁利用者(船社・荷主・港運関係者)に情報提供するとともに、受入体制について関係者と調整を行う。 ・大型のクルーズ船の寄港に向けて、現状の係船柱の耐力を検証する。	・必要となる係船柱の整備を検討する。	・坂出市